



特集

瑩山けいざんぜんじ禅師ものがたり ⑨



対立の永平寺から平穏な大乘寺へ

瑩山さまの成長も止まりません

義介さまが大乗寺の開山に

瑩山さまが師と仰ぐ義介さまは永平寺の三代目の住職でしたが、義介さまに批判的な人々が勢いを増したため、義介さまは永平寺を出て、加賀（現在の石川県）の野々市に、加賀の国守の富樫家尚公とがしいよひさが建立した大乘寺の開山として入山されました。瑩山さまをはじめ、義介さまを慕う多くの弟子たちも行動をともにしました。

大乘寺は、二大本山の永平寺、總

持寺に次ぐ曹洞宗の古刹です。曹洞宗寺院建築の典型的な七堂伽藍に配置されており、仏殿は国の重要文化財に指定されています。臨南寺と縁の深い曹洞宗元管長の板橋興宗禅師も住職を務められていました。

二十二歳にして聞声悟道す

弟子の育成に力を注ぐ義介さまのもとで、瑩山さまは大乘寺において飛躍的な成長を上げていきます。

瑩山さまの自伝「洞谷記」には、

No. 64
2021 Winter

山松舎
臨南寺

「二十二歳にして聞声悟道す」と記されています。「聞声悟道」というのは、禅僧が庭を掃除していて掃いた石が竹に当たった、その音を聞いて道悟ったという、中国の故事がありますが、それと同じことが瑩山さまの身に起こったというのです。悟道とは「仏心を起こす」こと。何があったか具体的にはわかりませんが、瑩山さまの心に何か変化が起こったのではないのでしょうか。

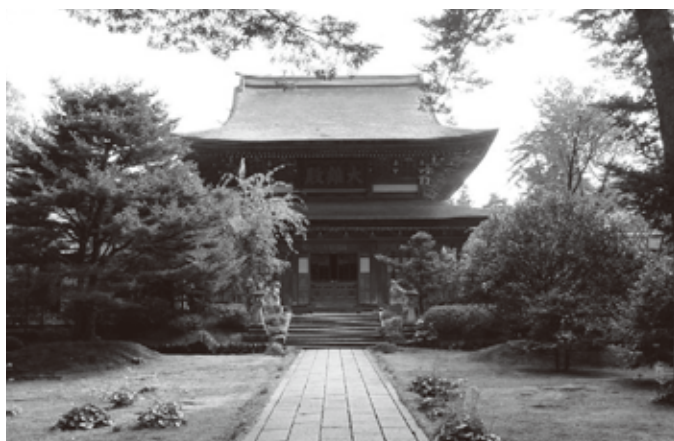
二十五歳にして観音のごとく

これも洞谷記に、「二十五歳にして、観音のごとく、大悲闍提だいひせんたいの弘誓願くせいがんを発す」とあります。瑩山さまは「人々の魂を救ってから成仏したい」と、観音菩薩と同じ大いなる願いと誓いを

起こされたのです。

二十二歳から二十七歳までの五年間、瑩山さまは、さまざまな雑音やわずらわしさから解放された義介さまのもとで、大きく成長されました。

二十八歳になると、富樫公のたつての要請により、四国の阿波（現在の徳島）の城満寺の初住職として、海を渡ることとなります。その話は次回といたしましょう。



曹洞宗の古刹、大乘寺

抱く琵琶に燈明ゆらぐ初弁天

森田旅舟

厄を払い福を授かる

弁財天祈禱会にお参りください



臨南寺では一月十五日午前
十時から本堂で弁財天祈禱会
を修行いたします。

弁財天様は七福神の一人。音
楽の才能をはぐくみ、雄弁と
智恵を授け、芸能や学問で成
功に導き、金運や財運をもた
らすと伝えられています。

弁財天祈禱会では、『大般
若波羅蜜多經』六百巻を転読
いたします。この經典は、唐時
代の高僧 玄奘三蔵がインドか
ら中国へ持ち帰ったもの。大き
な霊力を持つと言われており
ます。

皆様の無病息災・家門隆盛・



皆様の無病息災と家内安全をご祈念いたします

家内安全を願って、お札、お守り、
守護矢をお授けいたします。

法要の後の甘酒の振舞いは中
止いたします。新しい年が安寧
であり世界中が平和であるよ
うに、心を込めてお祈りいたし
ましょう。

寺景 臨南百景



十六羅漢さま 第二回

臨南寺の羅漢さまは、ご本尊さ
まをまつる内陣の左右に、八人ずつ
分かれていらっしゃいます。合掌さ
れていたたり、巻物を持っておられた
り、一人ひとり違った特徴がありま
す。本堂にお参りされた時はぜひ
そのお姿に触れてみてください。

羅漢さまは「修行を完成した人」
「悟りをひらいた高僧」のこと。お
釈迦さまの弟子のうち、特に優れ
た十六人の弟子を十六羅漢とい
います。羅漢さまは、涅槃に入る間
際のお釈迦さまから「永く現世に
とどまり仏法を護持して衆生を救
済せよ」といわれ、各地で仏法を
守り伝えました。

第二回の四人をご紹介します。

第五 諸距離尊者

須弥山の南にお住まいで、お釈迦さまに命
じられ、涅槃に入らず正法を守り衆生を救
うと言われています。



ナクラ

第六 跋陀羅尊者

ガンジス河の河口の町に住むと伝えられ、
水により悟りを開いたことから禪宗寺院の浴
室にはこの羅漢さまの像が安置されています。



バツダラ

第七 迦理迦尊者

お顔がやや四角な形で、伸びた眉毛をもて
あましているように見えます。



カリカ

第八 伐闍羅弗多羅尊者

この羅漢さまは千百人の弟子を持っていま
す。背中や腕、足に生えた毛の多さが目を
引きます。



バザラホツタラ

住職
日誌

江川禅師様のご冥福を

お祈り申し上げます

今年も早いもので年末を迎えます。新型コロナウイルスの感染拡大に追われて過ごした二年でした。

平成二十八年六月に当寺において修行いたしました、報恩

大授戒会の戒師をお勤めいただき

きました大本山總持寺獨住第二十五世大寛眞應禅師江川辰

三猊下が、去る九月十九日午前

二時にご遷化なされました。

平成八年に私が修行のために大本山總持寺に上山して以来、二十五年の長きにわたり、公私ともにご指導賜り、身にあまる

ご法愛を頂戴いたしました。「我

逢人（我、人と逢うなり）」江川禅師様がつねづねおっしゃってお



臨南寺 住職
大澤正道

られた言葉です。そばでお仕えさせていたただきながら、身をもつて教えていただきました。

江川禅師様には、私ども夫婦の結婚式の式師に始まり、渡邊

剛毅前住職の回忌・檀信徒総回

向・授戒会・客殿落慶と何度となくご来寺いただき、親しくご接化賜りました。

ここに「ご生前中に賜りました

ご法愛に感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

臨南寺行持予定（一～二月）

一月

○ 弁財天祈禱会（本堂） べんざいてんきとうえ

一月十五日 午前十時～十時半

新年を迎えて最初の年頭法要です。新しい年がよい年になりますよう、皆様の厄を払い福を招く法要を修行いたします。なお、甘酒の振る舞いは中止させていただきます。ご家族、お友達、誘い合わせてお参りください。

二月

○ 釈尊涅槃会（本堂） しやくそんねはんえ

二月十五日

お釈迦様の命日に、涅槃に入られるお釈迦様のお姿を描いた涅槃図を飾り、供養と感謝の法要を行います。

*なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止することや変更する場合もございます。臨南寺の行持については、臨南寺のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。寺務所の電話 ○六・六六九八・一〇〇二（九時～十七時）

年末年始の臨南寺

* 十二月三十一日～一月三日は、寺務所を閉めさせていただきます。

* 三が日の花の販売はございません。

* 開門は午前五時、閉門は午後九時となっております。

早朝坐禅会、写経会とも

しばらくお休みさせていただきます。ご了承ください。

読経が続く中、
ご焼香していただきました

爽やかな青空のもと、十一月二十一日(日)午後二時から、がっしょう園マトリの合同法要を営みました。感染症対策を取った上で、マトリにご納骨された皆様の慰霊の法要を行いました。「マトリ」とはサンスクリット語で母のこと。母のふところに抱かれ、安らぎを得られるようにとの祈る思いが込められています。



マトリにて読経の中ご焼香していただきました

曹洞宗元管長 江川辰三禅師が ご遷化なされました



在りし日の江川禅師を中心に住職夫妻

大本山總持寺獨住第二十五世 大寛眞應禅師江川辰三猊下が九月十九日午前二時に九十四歳でご遷化なされました。九月二十五日・二十六日、大本山總持寺において密葬儀が行われ、大澤住職が列席いたしました。ここにご遷化を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

お墓参りにもマスクを 忘れずに



お墓参りされる方の中にマスクをされていない方をお見掛けします。新型コロナウイルスに「うつらないため」にも「うつさないため」にも、マスクは必要です。マスクのご着用を忘れずをお願いします。

また手指の消毒ですが、休憩所にアルコール消毒液をご用意しております。どうぞご自由にお使いください。私たち一人ひとりが身の回りからウイルスを遠ざけるためにご協力をお願いします。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が急速に収まってきました。大阪でも1日の新規感染者が3000人を超えていたのに、最近は数が減って落ちついています。どうしてここまで減少したのか、専門家も明確な答えを出せずじまい。マスクと手指消毒は当分欠かせませぬ。(M)

ゴミはコンテナに

年末年始の墓参りで出たゴミは、コンテナに入れてください。
墓参りのゴミ以外は投棄しないでください。ご家庭で出たゴミはご遠慮ください。墓苑を美しく清潔に保つていただきますようご協力をお願いします。

「ほ〜っと」64号

令和3年12月

編集・発行：りょうがりん 椋伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com